

2015年1月6日
イオン株式会社

イオンは神奈川県とともに「未病を治すかながわ宣言」を推進します 「未病を治す！じぶんからだチェック&健康ウォーク」スタート

イオンは神奈川県の「未病産業の創出に係るモデル事業」に採択された「未病を治す！じぶんからだチェック&健康ウォーク」を、2015年1月6日から開始します。

神奈川県とイオンは、2011年10月に「連携と協力に関する包括提携協定」を締結し、県民の健康増進に協力して取り組んでいます。イオンは神奈川県が2014年1月8日に行った「未病を治すかながわ宣言」の協力企業として、店舗等でのイベントで「フレディ・エクササイズ（介護予防ダンス）」を実施するなど、本活動を共に推進しています。

今回実施する「未病を治す！じぶんからだチェック&健康ウォーク」は、健康チェックとウォーキングを組み合わせることで、参加者が日々の運動を習慣化し、未病を治すことを目的としています。

◎健康の「見える化」でウォーキングの習慣化を促進

「未病を治す！じぶんからだチェック&健康ウォーク」は、イオン店舗や公的施設で行われる健康チェックで参加者が自分の健康状態を把握し、イオン店内などでのウォーキングを習慣づけることで、日常生活を通じて未病を治す取り組みです。

参加者の意欲や健康意識を高めるため、イオンの電子マネー「WAON」を利用して、ウォーキングや健康チェック・セミナーへの参加で健康ポイントが貯まる仕組みを取り入れます。「WAON」を活用したイオンの電子版健康手帳「からだメモリ」に測定結果が蓄積されたり、「WAON」で歩数が確認できたりすることで、参加者自身が健康増進を実感でき、運動の習慣化を促進します。

◎イオンの健康寿命延伸への取り組み

『平成25年版 高齢化白書』（内閣府）によると、2012年の高齢化率（総人口に占める65歳以上の比率）は前年比23.3%増の24.1%となり、2060年には39.9%まで伸長すると予測されています。日々の活動に制限がなく健康でいられる期間をできるだけ長くする健康寿命延伸に向けて、産学官がさまざまな取り組みを行っています。

イオンは、全天候型で広い通路があり、日々の買物や週末のお出掛けで多くのお客さまが集まるイオンのショッピングセンターでのウォーキングや、イオンの電子マネー「WAON」を活用した電子版健康手帳「からだメモリ」など、地域にお住まいの皆さまが日常生活で気軽に継続できる健康管理に取り組んでいます。

「未病を治す！ じぶんからだチェック&健康ウォーク」の詳細

現在の自分の健康状態を把握しつつ、ウォーキングの習慣をつけることで、健康への意識を高め、継続的な健康管理を促進します。

◆県内3カ所で健康チェックを開催

イベント開始時に開催される健康チェックに参加すると、糖尿病や高脂血症、痛風などの疾病リスクをチェックできます。

※イオン相模原店（1月6・7日）、ハックドラッグ小田原荻窪店（マックスバリュ小田原荻窪店内、1月8日）、銀河アリーナ（淵野辺公園内、1月10日）で実施

◆ウォーキングで健康ポイントを貯める（～3月5日）

イオン相模原店、マックスバリュ小田原荻窪店内をウォーキングして店内に設置されたタッチポイントに「WAON」をタッチすることで、1カ所ごとに1健康ポイントが貯まります。また、健康チェックに参加した方に贈呈する専用活動量計で毎日3,000歩以上歩くと、1,000歩ごとに1健康ポイントが貯まります。貯まったポイントは、イベント終了後に参加賞やWAONポイントに交換できます。

◆専門家に健康相談できる

Webサイトのマイページ機能を用いて、健康・食事・介護・子育てなどに関して、専門家に健康相談ができます。

※未病とは

健康と病気を2つの明確に分けられる概念として捉えるのではなく、心身の状態は健康と病気の間を連続的に変化するものとして捉え、この全ての変化の過程をあらゆる概念である。「未病を治す」とは、心身の一連の変化の過程において、特定の疾患の予防・治療に止まらず、身体全体をより健康な状態に近づけることである。

（神奈川県ホームページより）

<http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/681817.pdf>)